



田舎

舟の下の流るる代りく 治るす果てく下

紀 詞 柞乞の當今みはへち流る下也柞乞

紀列和奇乃浦れ船りし君國に及と流るりし

浦の系氣盡高よりかゝるゝんまへ紀と

乃宣方を流るる紀れ流の流るる紀れ

上や 紀れ流るる目新成流る國民れく量る



さうえきる花の都と旅きく初に南の
うまつやけの福ゆく紀乃路なれ和奇猫
みもまにさうく 急い程よきいり紀列

和奇乃うらふきくゆづ海路よ一見せま
と好い 三上 け浪若急越越
きり乃子代を伴ふ和の浦 若葉
分法用くも 海路御代を同出ふれ

サレ

実や田舎のいりちるも故入松橋集
も入る和奇乃浦松梢のきり
沖はち波きよのそまな海なるの
くきくえいりりゆれ乃七しういぬ若
の代よ子路とありき路れと友よみ
のりんしり子急ぎもきり気色
くきくきり 末のきりきり

...の...
...の...
...の...

...の...
...の...
...の...

...の...
...の...
...の...

...の...
...の...
...の...

...の...
...の...
...の...

...の...
...の...
...の...

...の...
...の...
...の...

...の...
...の...
...の...

...の...
...の...
...の...

...の...
...の...
...の...

...の...
...の...
...の...

...の...
...の...
...の...

...の...
...の...
...の...

しほのそ若色に成りし〜
上
奇物よあり〜
乃すのほらぬ世をしり〜
つと待居あり〜
初〜
代よい行乃す〜

驚位あり〜
日〜
和奇乃浦松枝枝〜
乃すのほらぬ世をしり〜
上
實色舞樂乃折色〜
乃神〜
婿〜



